

令和7年度 入学生

# 普通科

特別進学選抜コース

特別進学コース

科・コースガイド

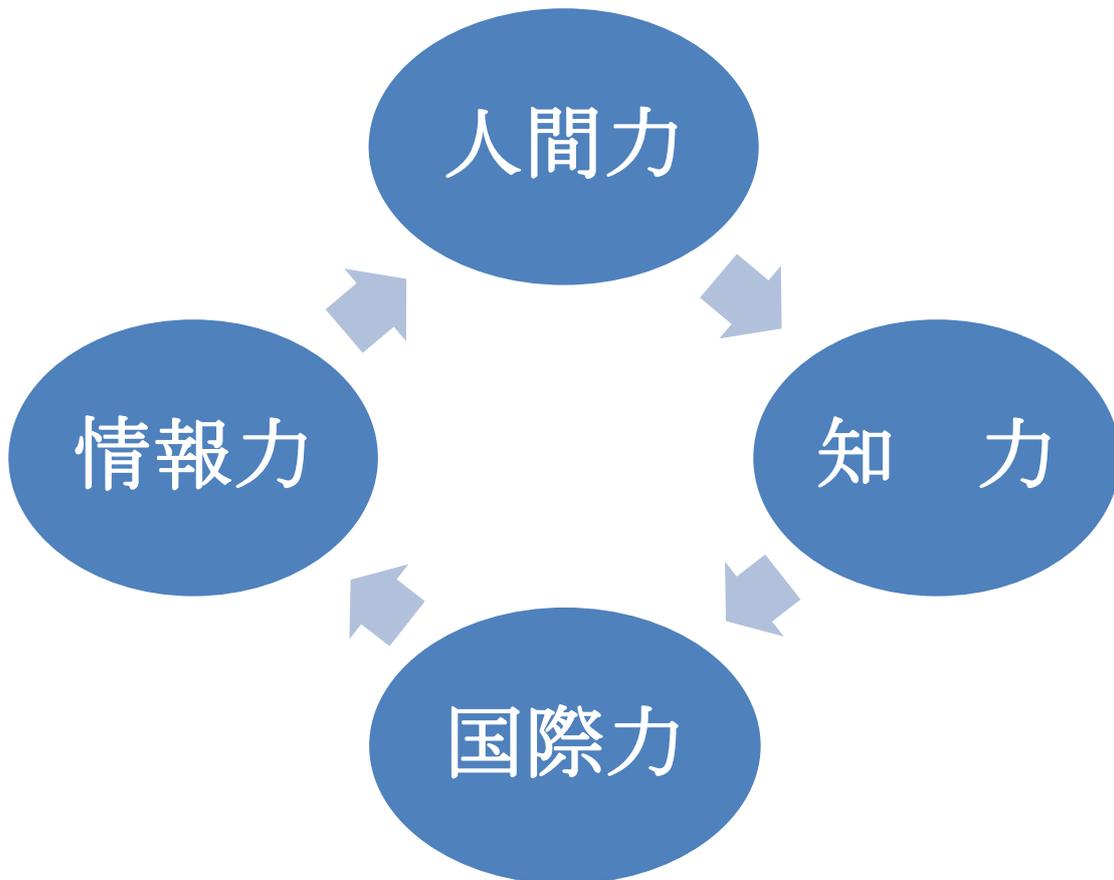
# 高崎商科大学附属高等学校

## 新入生のみなさんへ

皆さん、高校ご入学おめでとうございます。3年間は、皆さんが思うよりはるかに早く過ぎ去ってしまうものです。1時間、1日、1週間を大切に積み重ねることで、豊富な知識と貴重な経験、そしてかけがえのない友人に彩られた、素晴らしい高校時代となることでしょう。私たち教職員も、そのお手伝いができるよう全力でサポートします。

### 建学の精神

「自主・自立」



# ◇特別進学選抜コース◇

## ～未来を切り拓くスペシャリスト～

これからの20年間で、社会は劇的に変化すると予測されています。「人口減少」「IT・AIの進化」「グローバル化」により、これまでに経験したことのない状況に対応できる、革新的、創造的な考えを持つ人材が必要となります。それには、ある特定の知識や実践的専門技能を持っていることが必要です。

特別進学選抜コースは、「難関国公立大学合格」を目標とし、学力向上に向け、勉学に励むことに重点を置いています。大学進学後に、幅広い知識や高度な技術を身につけ、将来は先進的な研究や、より良い未来の創造に中心となって携わるスペシャリストの育成を目指します。

### ◇ 授業第一主義（基礎力養成）◇

学習の基本は、あくまで授業です。自ら計画を立て、予習・復習を行う姿勢を大切にします。

### ◇ 選抜コース研修 ◇

大学や研究機関などへの見学や体験活動による研修を通じて進路選択の幅を広げていきます。

### ◇ カリキュラム ◇

希望進路へ確実に向かえるよう、2年次より文系・理系を選択し、受験のための準備を着実に進めていきます。



## ◇特別進学コース◇

### ～社会をたくましく動かしリードするジェネラリスト～

変化の速度が著しく「予測不可能な社会」がやってくると言われる中、状況を的確に把握し柔軟に対応できる能力や、困難にも耐え乗り越えられる強い精神力を兼ね備えた人材が必要とされます。

特別進学コースは、「国公立大学・私立大学合格」を目標として学習に取り組むことに重点を置くコースです。また、部活動にも積極的に参加し、行動力・精神力・協調性を備えたリーダーとして活躍できる人材の育成を目指します。

#### ◇ 授業第一主義（基礎力養成） ◇

学習の基本はあくまで、授業です。授業の内容を十分に理解するには、家庭での予習・復習が必須です。「教えてもらう」だけでなく、「自ら考え、学ぶ」習慣を身につけることを目標とします。

#### ◇ 自己管理 ◇

学習と部活動とを両立させるために、限られた時間の中で、やるべきことを能率的に行える「自己管理能力」を養います。

#### ◇ カリキュラム ◇

2年次に「特別進学コース（文・理）」または「特別進学国際コース」を選択します。2年次からの進路選択に向けて、1年次より将来の目標を見きわめるための学びや情報収集を行っていきます。

学科	1年	2年	3年
普通科	特別進学選抜コース	特別進学選抜コース（文・理）	
	特別進学コース	特別進学コース（文・理）	
		特別進学国際コース（2年次より選択）	

## ◇特別進学国際コース（2年次より選択）◇

～英語・プラス $\alpha$ で世界に羽ばたく国際人～

グローバル社会では、多種多様な課題に対して、言語や社会的背景・考え方の異なる人たちと協働し解決する力が求められます。

特別進学国際コースでは、英語力はもちろんのこと、社会人として必要十分な一般教養を身につけることを目標としており、履修科目は特進コースと共通です。また、英語力の向上に向けての演習授業や海外体験行事も用意されています。高い語学力と知識を備えボーダレスで活躍できる人材の育成を目指します。

### ◇ 海外留学（希望者）◇

2年次の9月より3年次6月までの長期留学制度を設けています。留学先は、アメリカ・オーストラリア等の英語圏に加え、フランス・ドイツ・韓国など、希望により世界各国に留学が可能です。帰国後は、留年することなく、入学時の学年・クラスに戻ります。

### ◇ HR・探究活動 ◇

“English only”の環境で、状況に応じた日常会話やスピーチ・ディスカッションなど多彩なアクティビティーにより、コミュニケーション能力と国際感覚を養います。

### ◇ カリキュラム ◇

英語、国語、社会を重視した、文系の私立大学の入試に対応したカリキュラムとなっています。他コースに比べ、英会話などの英語系科目が充実しています。



普通科 教育課程 (令和7年度入学生)

教科	科目	標準 単位	特別進学選抜コース						特別進学コース・特別進学国際コース							
			第1 学年	第2学年		第3学年			第1 学年	第2学年			第3学年			
				理系	文系	理系	文系	私文系		理系	文系	国際	理系	文系	私文系	国際
国語	現代の国語	2	2						2							
	言語文化	2	2						2							
	論理国語	4		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2
	文学国語	4			2		2	2			2	2		2	2	2
	古典探究	4		3	3	2	3	3		3	3	2	2	3	3	2
地理 歴史	地理総合	2		2	2					2	2	2				
	地理探究	3				3							3			
	歴史総合	2	2						2							
	日本史探究	3			□3		□4	□4			□3	□3		□4	□4	□4
	世界史探究	3			□3		□4	□4			□3	□3		□4	□4	□4
	*日本史演習	1						△1							△1	△1
	*世界史演習	1						△1							△1	△1
公民	公共	2	2						2							
	倫理	2					2	2						2	2	
	政治・経済	2						2							2	2
	*公民演習	2														
数学	数学Ⅰ	3	3						3							
	数学Ⅱ	4		4	3					4	3					
	数学Ⅲ	3				3							3			
	数学A	2	2						2							
	数学B	2		2	2					2	2					
	数学C	2				2	2						2	2		
	*数学演習	3										3				
理科	物理基礎	2	2						2							
	物理	4		◇2		◇3				◇2			◇3			
	化学基礎	2		2						2						
	化学	4		2		3				2			3			
	生物基礎	2	2						2							
	生物	4		◇2		◇3				◇2			◇3			
	地学基礎	2			2						2	2				
*理科演習	2					3							3			
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3
	保健	2		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
芸術	音楽Ⅰ	2	1			1	1	1	1				1	1	1	1
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3						3							
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4					4	4	4				
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4	4					4	4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2						2							
	論理・表現Ⅱ	2		2	2					2	2	2				
	論理・表現Ⅲ	2				2	2	2					2	2	2	2
	*基礎英語会話Ⅰ	1														
	*英語会話Ⅰ	1										1				
	*英語会話Ⅱ	1														1
	*実践英会話	2														2
	*時事英語Ⅰ	2										2				
	*時事英語Ⅱ	2														2
*英語演習	2						2							2		
家庭	家庭基礎	2	2						2							
	*保育基礎	2														
情報	情報Ⅰ	2	2						2							
	*情報演習	2														
総合的な探究の時間		3~6	1	2	2				1	2	2	2				
HR活動		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
単位合計			31	31	31	30	30	30	31	31	31	31	30	30	30	30

1 □の「日本史探究」「世界史探究」、△の「日本史演習」「世界史演習」、◇の「物理」「生物」、☆の「公民演習」「数学演習」「英語演習」「保育基礎」「情報演習」は、それぞれの1科目を選択。

## 【国語科 シラバス】

科目名	現代の国語			使用 教材	教科書	精選 現代の国語（東京書籍）
学 年	1	単位数	2		副教材	学習課題ノート（東京書籍） 常用漢字クリア（尚文出版）
科・コース	普通科 特別選抜進学コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のうち、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の配当時間が多い科目です。

### 【学習方法と授業の進め方】

評論文やレポート、官公庁の発行物、規約などの実用的な文章を扱います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の配当時間が多く、話し合いや発表、記述による学習が中心となります。

### 【学習評価】

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているか。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしているか。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解しているか。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解しているか。</li> <li>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めているか。</li> <li>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めているか。</li> <li>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めているか。</li> </ul>	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討できているか。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しているか。</li> <li>・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしているか。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しているか。</li> <li>・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めているか。</li> </ul>	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、文章の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしているか。</li> <li>・積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように文章の効果的な組み立てや接続の仕方を意識して自分の意見を文章としてまとめ、発表や話し合いをしようとしているか。</li> </ul>	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・授業に臨むに当たって、読み、意味調べなどの予習は最低限やっておきましょう。
- ・こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。
- ・「書くこと」や「話すこと」の活動に積極的に参加しましょう。
- ・提出物の期限は厳守しましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SD Gs	備考欄
第1学期	4	1 自己と他者	【読むこと】「届く言葉」内田 樹 対比的に書かれた評論を読み取る。 【話すこと・聞くこと】「分かりやすい説明をする」 目的や相手に合った分かりやすい説明をする。	4	
	5	1 自己と他者	【書くこと】「手順を整理して正確に伝える」 情報をわかりやすく整理し、表現を検討して手順書 を書く。		
	6	2 認識を深める	【読むこと】「水の東西」山崎正和 日本文化の特質について理解を深める。 【話すこと・聞くこと】「発想を広げて課題を見つける」 発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える。	2	
	7	2 認識を深める	【書くこと】「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」 読んだ文章から問いを作り、構成を工夫して意見を まとめる。		
第2学期	9	3 言葉と社会	【読むこと】「言葉は世界を切り分ける」今井むつみ 言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。 【話すこと・聞くこと】「本を紹介する」 話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。		
	10	3 言葉と社会	【書くこと】「調べた情報を説明資料にまとめる」 情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じて まとめる。		
	11	4 共に生きる	【読むこと】「真の自立とは」鷺田清一 自分の考えを持ち、視野を広げる 【書くこと】「異なる主張の文章を読み比べて自分の意 見を書く」 読み比べて考えを明確にし、伝わりやすい構成で書 く。	17	
	12	4 共に生きる	【話すこと・聞くこと】「情報を整理しながら話し合う」 話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。	17	
第3学期	1	5 世界を広げる	【読むこと】「白」原 研哉 筆者の考えを独自の表現に注意して読み取る 【書くこと】「検証してレポートを書く」 論点を整理して検証し、レポートの形式で書く。		
	2	5 世界を広げる	【話すこと・聞くこと】「探究したことを発信する」 発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。		
	3	一年次のまとめ	一年次のまとめ		

## 【国語科 シラバス】

科目名	言語文化			使用 教材	教科書	精選 言語文化（東京書籍）
学 年	1	単位数	2		副教材	学習課題ノート（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社） 徹底理解高校漢文（東京書籍）
科・コース	普通科 特別選抜進学コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のうち、「読むこと」の配当時間が多い科目です。

### 【学習方法と授業の進め方】

古典や近代以降の文章を扱います。文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを学び、作品や文章の歴史的・文化的背景などへの理解を深めます。また、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動を行います。

### 【学習評価】

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているか。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしているか。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解しているか。</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めているか。</li> </ul>	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしているか。</li> <li>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫しているか。</li> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しているか。</li> <li>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価しているか。</li> <li>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めているか。</li> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっているか。</li> </ul>	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、登場人物の心の動きを読み取ろうとしているか。</li> <li>・進んで筆者のものの見方や感じ方を捉えて作品を読み味わおうとしているか。</li> <li>・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしているか。</li> <li>・進んで文語のきまりや古典特有の表現、漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しをもって古典を学ぶ意義について考えを持つようとしているか。</li> </ul>	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・授業に臨むに当たって、読み、意味調べなどの予習は最低限やっておきましょう。
- ・こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。
- ・提出物の期限は厳守しましょう。
- ・積極的に読書をし、生活や人生について考えを深めましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SD Gs	備考欄
第1学期	4	現代文編 1 随想 古文編 1 古文入門	【読むこと】「言葉を届ける」東 直子 恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解に注意して、随筆を読み味わう。 【読むこと】「児のそら寝（宇治拾遺物語）」 歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。		
	5	古文編 1 古文入門	古文学習のしるべ1 「古文の言葉と仮名遣い」 古文学習のしるべ2 「古語を調べるために」 古文学習のしるべ3 「係り結び・仮定条件と確定条件」		
	6	漢文編 1 漢文入門	「訓読の基本」 漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。		
	7	漢文編 2 寓話	【読むこと】「借虎威（戦国策）」 話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。	16	
第2学期	9	現代文編 2 小説1	【読むこと】「羅生門」芥川龍之介 極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。	16	
	10	古文編 2 随想	古典文法 助動詞 【読むこと】「丹波に出雲といふ所あり（徒然草）」 随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。	4	
	11	古文編 3 歌物語	【読むこと】「筒井筒（伊勢物語）」 歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 古文学習のしるべ4 「和歌の解釈」 【書くこと】「短歌を作る」 自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。		
	12	漢文編 3 詩文	【読むこと】「春暁」「黄鶴楼送孟浩然之広陵」「香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁」 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 【書くこと】「訳詩を書く」 元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。		
第3学期	1	漢文編 4 史話	【読むこと】「管鮑之交（十八史略）」 話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	17	
	2	古文編 7 俳諧	【読むこと】「漂泊の思い（奥の細道）」 構成に注目しながら、作品に込められた思いを読み取る。 【書くこと】「文学碑を調べる」 地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理する。		
	3	漢文編 5 思想	【読むこと】「学問を語る（論語）」 『論語』を読むことを通して、孔子の思想に興味を持ち、ものの見方や考え方を豊かにする。 「『論語』の注釈を読む」 『論語』の注釈を読み、日本での『論語』の受容について知るとともに、漢文を自分で解釈する力を養う。	4	

## 【地歴科 シラバス】

科目名	歴史総合			使用 教材	教科書	歴史総合（実教出版）
学 年	1	単位数	2		副教材	歴史総合演習ノート（実教出版）
科・コース	普通科 特別進学選抜コース・特別進学コース・進学コース					

### 【授業の概要】

18世紀から現在に至るまでの近現代史を対象とし、300年にわたる「世界とそのなかの日本」について学ぶ。世界と日本は深い関係があり、歴史は常に動いている。「歴史は繰り返す」とよく言われるが、私たち人間が同じ過ちを繰り返さないためにも、現代社会がどのような変遷を経て近代化・大衆化・グローバル化して構築されたのか、また現代社会が抱える諸問題はどのように形成されたのか等を、世界と日本の歴史を比較・関連づけて多面的・多角的に考察し、歴史的なものの見方・考え方を身につけ、現代に生かせる知識を過去から学び歴史的思考力を養う。

### 【学習方法と授業の進め方】

中学までの学習及び「歴史の扉」の学習をふまえ、諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を取得し、人々の生活や社会のあり方が近代化にともない国際社会とのかかわりの中でどのように変化してきたかを考察する。歴史は暗記するだけの科目ではないので、5W1Hを意識して、歴史的な事象を時期・推移などに着目し、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けるなどして多角的・多面的に理解し、歴史的な見方や考え方を通して現代社会が抱える諸問題に繋げて考察し、発表や討論等を通して表現力を身に付けるとともに、他者理解を深めていく。

### 【学習評価】

定期考査及び下記の観点別評価により総合的に評価する。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の変化・発展の背景には原因・結果の法則があることを理解できたか。</li> <li>諸資料を活用して的確な情報を収集・選択し、読み取り理解できたか。</li> <li>近代社会が形成される歴史的過程と生活・文化の地域的特色について基本的な事柄を理解し、その知識を身につけることができたか。</li> <li>課題やレポート作成において、的確に表現する方法を習得しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の知識・理解に関する問題</li> <li>演習ノート</li> <li>課題プリントへの取り組み</li> <li>ノートの作成状況</li> </ul>
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の変化・発展の背景には原因・結果の法則があることを説明できるか。</li> <li>自分と違う考え方の人と話し合うことで深く考えることができたか。</li> <li>課題やレポート作成において、多面的・多角的に考察して歴史的思考力を養い、的確に表現することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題）</li> <li>演習ノート</li> <li>課題プリントへの取り組み</li> <li>ノートの作成状況</li> </ul>
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史に興味関心を持ち、歴史的なものの見方・考え方をしているか。</li> <li>諸資料を積極的に活用し、的確な情報を収集・選択して読み取ったりまとめたりする態度が見えるか。</li> <li>授業に意欲的に参加し、現代社会の身近な諸問題と関連付けた主題を設定し、社会的事象の歴史的な背景などを説明・論述・言語活動を通じて論理的に探究しようとする態度が見えるか。</li> <li>学習内容について振り返り、日常生活や社会に生かそうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>討論や発表</li> <li>課題プリントへの取り組み</li> <li>ノートの作成状況</li> </ul>

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・予習 教科書・演習ノートを参考に、どんなことを学ぶのかを把握する。
- ・授業 授業で学ぶ知識には構造があるので、丸暗記ではなく、関連性を持たせて理解する。
- ・復習 歴史の流れや原因・結果を考えながら教科書を読み、学んだことをその日のうちに理解する。わからないところは自ら調べ、友達や先生に質問する。
- ・演習 教科書・演習ノートのアクティブで学んだ知識を活用して、諸資料を使用し多面的・多角的に考察しながら、的確な表現の仕方を身に付け、演習ノートの章末問題をやる。
- ・ノート ノートは第2の記憶。早く見やすく書く。板書以外の口頭説明も必要に応じてメモをとる。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への始動 1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2. 江戸時代の生産・流通と諸改革 3. 幕政の改革と東アジア世界	○17世紀に東アジアでできた体制について ○商品作物の生産と流通が国内外に与えた影響 ○欧米諸国の接近に対して日本と清がとった対応	9	
	5	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 4. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5. フランス革命とウィーン体制 6. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7. オスマン帝国の衰退とロシア 8. アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9. 江戸幕府の滅亡	○イギリス産業革命やアメリカ独立戦争の原因・展開・結果 ○フランス革命とウィーン体制下の政治体制の変化 ○領土拡大下で生じたアメリカ合衆国の問題。 ○東方問題とロシアやオスマン帝国の変化 ○アヘン戦争に対する東アジア諸国の対応 ○将軍や各藩がつくろうとした政治体制	1 3 9 10 16	
	6	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 10. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 11. 明治政府の諸改革 12. 日本のアジア外交と国境問題 13. 自由民権運動と大日本帝国憲法	○19世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツにおける政治上の動き ○明治政府がすすめた国づくり ○日本の国境画定 ○自由民権運動がめざした国家とは何か	4 9 10 16	
	7	第4章 帝国主義の時代 14. 帝国主義の時代へ 15. 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16. 日清戦争後の東アジア 17. 日露戦争と東アジアの変動 18. 日本の産業革命	○なぜ欧米諸国は帝国主義政策をすすめたのか。 ○日清戦争の目的は何か ○日本と中国や朝鮮との関係の変化 ○日露戦争の影響 ○産業革命による日本の経済と社会の変化	4 9 10 16	
第2学期	9	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 19. 第一次世界大戦 20. ロシア革命とソ連の成立 21. 米騒動と大正デモクラシー	○第一次世界大戦はなぜ世界を巻きこんだのか ○ソヴィエト政権はなぜ人々から支持されたのか、また革命が成功した背景は何か ○米騒動のなかで人々が求めたものは何か	1 5 10 16	
	10	22. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23. アジアの民族運動 24. 第一次世界大戦後の欧米諸国 25. ひろがる社会運動と普通選挙の実現	○大戦後の国際秩序構築の目的 ○第一次世界大戦後のアジア各地でなぜ民族運動が活発になったのか ○第一次世界大戦後の欧米諸国の動き ○社会運動をになった人々が求めたものは何か	3 5 10 16	
	11	第6章 経済危機と第二次世界大戦 26. 世界恐慌と各国の対応 27. ファシズムの時代 28. 満洲事変と軍部の対立 29. 日中戦争と戦時体制	○世界恐慌が各国の経済や人々の生活に与えた影響 ○ヒトラー率いるナチ党政権の特徴 ○日本の国際的孤立への道 ○中国との戦争が長期化したのはなぜか	9 3 8 10 16	
	12	30. 第二次世界大戦の勃発 31. 第二次世界大戦の終結 32. 国際連合の成立と冷戦 33. 日本占領と日本国憲法 34. 朝鮮戦争と日本	○ヨーロッパでの戦いと日中戦争との関連性 ○戦争の終結について ○国際連合は設立の目的をはたせてきたか ○民主化政策による日本の変化 ○朝鮮戦争による連合国の対日占領方針の転換	3 4 5 10 16	

第3学期	1	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 35. 植民地の独立 36. 米ソ両陣営の動揺 37. 日本の国際社会復帰と高度経済成長	○旧植民地の独立達成の経緯 ○強大な軍事力をほこった米ソの影響力がなぜ弱まっていったのか ○冷戦が与えた日本の政治と外交の変化	3 5 10 16	
	2	第8章 多極化する世界 38. 石油危機と世界経済 39. 緊張緩和から冷戦の終息へ 40. 日本の経済大国化	○石油危機以後の世界の変化 ○冷戦の終結に影響を与えた米ソの動き ○バブル経済はなぜ崩壊したのか	1 7 9 16	
	3	第9章 41. 地域紛争と対立 42. 国際秩序の変容	○冷戦後の地域紛争の原因は何か。 ○グローバル化がすすむなかでの各国の動向	17	

## 【公民科 シラバス】

科目名	公共			使用教材	教科書	高等学校 新公共(第一学習社)
学年	1	単位数	2	副教材	新公共ノート(第一学習社)	
科・コース	普通科 特別進学選抜コース・特別進学コース・進学コース 総合ビジネス科					

### 【授業の概要】

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 【学習方法と授業の進め方】

基本的には教科書を中心に進めていきます。図や統計などの読み取りから、観察力・考察力や資料活用の力を身につけます。現代の社会の問題や事例と人間にかかわる事柄をもとに授業を展開していき、多面的・多角的な考察や自身の考えをまとめ、知識や理解を深めます。SDG s を念頭においた授業やグループワーク等も実施します。

### 【学習評価】

定期考査及び下記の観点別評価により総合的に評価する。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・定期考査の思考・応用問題(資料読解・論述問題) ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・討論や発表 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・予習 教科書・演習ノートを参考に、どんなことを学ぶのかを把握する。
- ・授業 授業で学ぶ知識には構造があるので、丸暗記ではなく、関連性を持たせて理解する。
- ・復習 現代の諸課題の原因・結果を多角的に考察し教科書を読み、学んだことをその日のうちに理解する。わからないところは自ら調べ、友達や先生に質問する。
- ・演習 教科書・演習ノートで学んだ知識を活用して、諸資料を使用し多面的・多角的に考察しながら、的確な表現の仕方を身に付け、教科書の Active Learning の課題や演習ノートの章末問題をやる。
- ・ノート ノートは『第2の記憶』、早く見やすく書く。板書以外の口頭説明も必要に応じてメモをとる。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1編 公共の扉をひらく 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	①社会に生きる私たち ②個人の存滅と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体を目指して  ①人間と社会のあり方についての見方・考え方	4 5 16	
	5	第3章 公共的な空間における基本的原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理  ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範	4 5 16	
	6	主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義	④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利  ①様々な契約と法 ②消費者の権利と責任  ①裁判所と司法 ②国民の司法参加	4 5 10 16	
	7	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成	①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉	16 17	
第2学期	9	主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛	①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和	5 10 16 17	
	10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題	①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割  ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題	5 8 10 16	
	11	主題9 社会変化と職業観	①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業	8 9 14 15	
	12	主題10 市場経済の機能と限界	①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉	3 8 13	
第3学期	1	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障	①金融の意義と役割 ②金融のいま  ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障	3 8 17	
	2	主題13 経済のグローバル化	①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから	1 7 8 10 13 17	
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題	3 7 16 17	

## 数学科シラバス（普通科特進選抜コース・普通科特進コース）

科目名	数学 I			使用 教材	教科書	数学 I・数学 II（数研出版）
学 年	1	単位数	4		副教材	4step 数学 I +A 数学 II +B（特進選抜） クリアー数学 I +A 数学 II +B（特進）

### 【授業の概要】

高校の数学は I・II・III・A・B・C の 6 科目ありますが、特進選抜コース・特進コースでは数研出版の教科書を用いて授業を進めます。また、1 年生ではすべての生徒が同じ内容を学習します。  
数学 I および数学 A は今後の数学を学習するうえで基盤となる重要科目です。

### 【学習方法と授業の進め方】

授業では教科書、問題集、その他必要に応じてプリントを使用します。理解していることを前提に進むので、必ず教科書の該当範囲を予習しておいてください。また、問題演習やプリント学習では教科書の範囲にとどまらず、入試問題や全国模試の問題を扱うので、そのレベルに照準を合わせるように常に意識して学習しましょう。

### 【学習評価】

年 5 回行われる定期考査の成績に宿題などの家庭学習、授業態度、出欠席の回数などを平常点として加え総合的に評価を行います。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	数量関係や図形などの基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈したりする技能を身につける。	定期テスト 小テスト プリント など
②思考・判断・表現	数学を活用し事象を論理的に考察することで、法則や図形などの性質を発見できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表す力を養う。	定期テスト 小テスト プリント グループ学習等の発表 レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学の知識を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決能力を養う。	授業態度 課題提出 など

### 【留意事項】

教科書（授業用）のノートと、問題集（演習用）のノートを 2 冊準備してください。

【予習】 事前に教科書を読んで、例題を参考に自分で問題を解いておく。

【授業】 予習でわからなかったところを授業中に解決するつもりで臨む。

【復習】 自分の手で何度も解きなおす。宿題以外に問題集を各自解き進めておく。

【ノートの取り方】 後で見たときにどんな学習をしたかわかるような取り方をする。  
予習のときにスペースを多めにとり、あとで注意事項を書き込めるようにするとよい。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	<数学I> ・数と式 式の計算	多項式 多項式の加法減法および乗法 因数分解	4	
	5	実数 一次不等式	実数 根号を含む式の計算 一次不等式 一次不等式の利用		
	6	・集合と命題	集合 命題と条件 命題と証明		
	7	・2次関数 2次関数のグラフ	関数とグラフ 2次関数のグラフ		
第2学期	9	2次方程式と2次不等式	2次関数の最大最小 2次関数の決定 2次方程式 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式	9	
	10	・図形と計量 三角比	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張		
	11	三角形への応用	正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形の応用		
	12	・データの分析	データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位範囲 分散と標準偏差		
第3学期	1	<数学II> ・式と証明	2つの変数の間の関係 仮説検定の考え方		
	2	式と計算	3次式の展開と因数分解 2項定理		
	3	等式と不等式の証明	多項式の割り算 分数式とその計算 恒等式 等式の証明 不等式の証明		

## 数学科シラバス（普通科特進選抜コース・普通科特進コース）

科目名	数学 A			使用 教材	教科書	数学 A（数研出版）
学 年	1	単位数	2		副教材	4step 数学 I + A（特進選抜） クリアー数学 I + A（特進）

### 【授業の概要】

高校の数学は I・II・III・A・B・C の 6 科目ありますが、特進選抜コース・特進コースでは数研出版の教科書を用いて授業を進めます。また、1 年生ではすべての生徒が同じ内容を学習します。  
数学 I および数学 A は今後の数学を学習するうえで基盤となる重要科目です。

### 【学習方法と授業の進め方】

授業では教科書、問題集、その他必要に応じてプリントを使用します。理解していることを前提に進むので、必ず教科書の該当範囲を予習しておいてください。また、問題演習やプリント学習では教科書の範囲にとどまらず、入試問題や全国模試の問題を扱うので、そのレベルに照準を合わせるように常に意識して学習しましょう。

### 【学習評価】

年 5 回行われる定期考査の成績に宿題などの家庭学習、授業態度、出欠席の回数などを平常点として加え総合的に評価を行います。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	数量関係や図形などの基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈したりする技能を身につける。	定期テスト 小テスト プリント など
②思考・判断・表現	数学を活用し事象を論理的に考察することで、法則や図形などの性質を発見できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表す力を養う。	定期テスト 小テスト プリント グループ学習等の発表 レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学の知識を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決能力を養う。	授業態度 課題提出 など

### 【留意事項】

教科書（授業用）のノートと、問題集（演習用）のノートを 2 冊準備してください。

【予習】 事前に教科書を読んで、例題を参考に自分で問題を解いておく。

【授業】 予習でわからなかったところを授業中に解決するつもりで臨む。

【復習】 自分の手で何度も解きなおす。宿題以外に問題集を各自解き進めておく。

【ノートの取り方】 後で見たときにどんな学習をしたかわかるような取り方をする。  
予習のときにスペースを多めにとり、あとで注意事項を書き込めるようにするとよい。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	<数学 A> ・場合の数と確率 場合の数	集合の要素の個数 場合の数	4	
	5		順列 円順列・重複順列 組み合わせ		
	6	確率	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行の確率		
	7		反復試行の確率 条件付き確率 期待値		
第2学期	9	・図形の性質 平面図形	三角形の辺の比 三角形の外心、内心、重心 チェバの定理、メネラウスの定理		
	10		円に内接する四角形 円と直線 方べきの定理 2つの円の位置関係 作図		
	11	空間図形	直線と平面 多面体		
	12	・数学と人間の活動	倍数と約数 素数と素因数分解 最大公約数、最小公倍数		
第3学期	1		整数の割り算 ユークリッドの互除法 一次不定方程式		
	2		記数法 座標の考え方 ゲーム・パズルの中の数学		
	3	まとめと演習	まとめと演習		

## 【理科 シラバス】

科目名	生物基礎			使用 教材	教科書	生物基礎（東京書籍）
学 年	1	単位数	2		副教材	ニューグローバル生物基礎（東京書籍） フォトサイエンス生物図録（数研出版）
科・コース	普通科 特別進学選抜コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

- ・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。

### 【学習方法と授業の進め方】

大学入試で合格点を取れるレベルを目指して授業を進めます。共通テスト7割以上の得点が取れるようになるには、教科書の本文を前後の法則の関連性を重視して体系的に理解することが必要です。教科書がすべて終了したとき、難解と思われる問題を解くイメージを自力で作れるようになるはずですが、年間を通じて、ある程度の量の演習が必要です。最終的には、理解は一個人の不断の学習でなされます。気長で根気ある学習姿勢を身につけて下さい。1年間で教科書のすべてを指導します。特に、章末問題を自力で解ける実力をはじめの目標にしてください。

### 【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に評価する。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・課題への取り組み
②思考・判断・表現	・生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	・定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題） ・課題への取り組み ・観察・実験等
③主体的に学習に取り組む態度	・生物の特徴や性質、細胞・器官のはたらき、植生について興味・関心を持ち、調べたり探究活動に臨み理解しようとする態度を持っている。 ・学習内容について振り返り、日常生活や社会に活かそうとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・観察・実験・発表等

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・生物基礎は、私たちの身の回りの現象について、生物学の視点から考える教科です。そのため、身の回りや内外の世界に向けて興味関心のアンテナを立てておくことが大切です。
- ・R4年共通テストに「指先に装着するタイプの血中酸素飽和度測定計」についての出題がされました。時勢を強く反映しており、どのようにして酸素飽和度を測定しているのかの理解にもつながる問題でした。「免疫」のように自らの健康について学んだり、「バイオーム」のように、自然豊かな群馬に住む私たちにとって関わりの深い事象を学ぶことから、自分自身のことについて勉強するんだという前向きな気持ちで楽しみながら臨むとよいでしょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SD Gs	備考欄
第1学期	4	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 1節 生物の多様性 2節 生物の共通性	生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。	14 15	
	5	3節 細胞の特徴			
	6	2章 生物とエネルギー 1節 生体とATP 2節 生体内の化学反応 3節 呼吸と光合成	生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。	14 15	
第2学期	7	2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 1節 生物と遺伝子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	遺伝情報をなう物質としてのDNAの特徴について理解する。 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。		
	9	2章 遺伝情報とタンパク質 1節 タンパク質 2節 DNAとタンパク質の合成 3節 細胞分化と遺伝子	DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。		
	10	3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達 1節 体内環境 2節 神経系による情報伝達	体内環境の恒常性が保たれているしくみを理解する。 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。	3	
	11	3節 ホルモンによる情報伝達 4節 血統濃度の調節		3	
12	2章 免疫のはたらき 1節 免疫のしくみ 2節 免疫記憶 3節 免疫の異常	免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。	3		
第3学期	1	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 1節 植生とその環境 2節 植生の遷移	陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。	14 15	
	2	3節 遷移とバイオーム 2章 生態系と生物の多様性 1節 生態系における生物の多様性 2節 生態系における生物間関係	気候に適応した様々なバイオームが成立していることとその特徴を学ぶ。	14 15	
	3	3節 生態系と攪乱 4節 生態系の保全	生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。	14 15	

## 【理科 シラバス】

科目名	物理基礎			使用 教材	教科書	物理基礎（数研出版）
学 年	1	単位数	2		副教材	リードα物理基礎（数研出版）
科・コース	普通科 特別進学選抜コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

物体の運動と様々なエネルギーに関わる基礎的な内容を扱い、日常生活や社会との関連を図りながら、物理学が科学技術に果たす役割などについての認識を深め、科学的に探究する力と態度を育くむ。

### 【学習方法と授業の進め方】

大学入試で合格点を取れるレベルを目指して授業を進めます。共通テスト7割以上の得点が取れるようになるには、教科書の本文を前後の法則の関連性を重視して体系的に理解することが必要です。教科書がすべて終了したとき、難解と思われる問題を解くイメージを自力で作れるようになるはずですが、年間を通じて、ある程度の量の演習が必要です。最終的には、理解は一個人の不断の学習でなされます。気長で根気ある学習姿勢を身に付けて下さい。

1年間で教科書のすべてを指導します。特に、章末問題を自力で解ける実力をはじめの目標にしてください。

### 【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に評価する。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験を通して、さまざまな自然現象の背景には原理や法則があることを理解できたか。</li> <li>自然現象を定量的に考察するため、物理量（概念）を定義し、利用することが理解できたか。</li> <li>観察や実験の技能を修得できたか。</li> <li>観察や実験を通して科学的に探究する方法を習得できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の知識・理解に関する問題</li> <li>課題への取り組み</li> </ul>
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな物理現象を論理的に考察・分析し、その本質を原理や法則から説明できるか。</li> <li>観察や実験を通して、物理現象を論理的に分析し、問題を解決し、実験結果(事実)に基づいて科学的に判断できるか。</li> <li>課題や実験のレポートにおいて、的確に表現する方法を習得しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題）</li> <li>課題への取り組み</li> <li>観察・実験等</li> </ul>
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然現象に関心を持ち、科学的な見方をしているか。</li> <li>授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探究しようとする態度が見えるか。</li> <li>学習内容について振り返り、日常生活や社会に生かそうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>観察・実験・発表等</li> </ul>

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- 理解と定着には復習と反復が一番です。式の柔軟な変形、計算の瞬発力は練習によって培われます。教科書準拠の問題集に加え、共通テストのような読解と思考が必要な問題に触れる機会をつくと良いでしょう。
- 「熱した金属を常温の水に入れたとき、より水温が上がるのは、水の量が多い or 水の量が少ない どちらか」のように想像と感覚で解を出せるものもあります。文字式を扱う物理ですが、想像力を持って授業に臨んで下さい。過去の共通テストで出題された内容で、答えは「水量が少ないとき」ですが、「熱したフライパンに大量の水を入れると冷えるけれど、水滴1粒落とすと、すぐ蒸発する＝水量が少ない程、水温が上がる」のような日常の例をもとにした考察力も身に付きます。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1.速度 2.加速度	主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学ぶ。 「人の運動の分析」、「等速直線運動」 「平面内の運動での速度の合成・分解」 「平面内の運動での相対速度」 「電車の速度の変化の様子」	9	
	5	3.落体の運動  第2章 運動の法則 1.力とそのはらたき	「斜面をくだる物体の運動の解析」 「等加速度直線運動」 「重力加速度の測定」 「水平投射と自由落下」 「水平投射の式」、「斜方投射の式」  いろいろな力の性質を学ぶとともに、力がはたらいた場合の物体の運動の変化の様子を調べる。 「重力」「張力」「垂直抗力と摩擦力」「弾性力とフックの法則」「静電気力と磁気力」	9	
	6	2.力のつりあい 3.運動の法則	「力のつり合い」「作用反作用」 「慣性の法則」「運動の法則」 「1物体の運動方程式・2物体の運動方程式」		
	7	4.摩擦を受ける運動 5.液体や気体から受ける力	「摩擦を受ける運動」「圧力・水圧」「浮力」 「空気抵抗と終端速度」		
第2学期	9	第3章 仕事と力学的エネルギー 1.仕事 2.運動エネルギー 3.位置エネルギー	仕事、力学的エネルギーについて学び、力学的エネルギーが保存されることを中心に学習する。 「仕事、仕事の原理と仕事率」 「運動エネルギー」「位置エネルギー」	7	
	10	4.力学的エネルギーの保存  第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1.熱と物質の状態 2.熱と仕事	「力学的エネルギーの保存」 「保存力以外の力の仕事」  熱の本質を知り、エネルギーとの関係を学ぶ。 「温度とブラウン運動」「熱容量と比熱」「熱量の保存」「熱膨張」「状態変化の熱」 「仕事と熱の関係」「内部エネルギー」	7	
	11	第3編 波 第1章 波の性質 1.波と媒質の運動 2.波の伝わり方	波とは何か、波はどのように伝わるかなどを調べ、波の性質を学ぶ。 「平面や空間を伝わる波とその性質」「波の重ね合わせ」「定在波」「波の反射」		
	12	第2章 音 1.音の性質 2.発音体の振動と共振・共鳴	音の伝わり方や性質を学ぶ。 「音の性質、3要素」「音速と音の伝わり方」「発音体・弦の振動と定在波」「気柱の共鳴」		
第3学期	1	第4編 電気 第1章 物質と電気 1.電気の性質 2.電流と電気抵抗 3.電気とエネルギー	静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、さらに発電機や電磁波について学ぶ。 「静電気の正負・導体と不導体」「オームの法則」「導体の長さや断面積による電気抵抗の違い」「抵抗率の温度変化」「ジュール熱」		
	2	第2章 磁場と交流 1.電流と磁場 2.交流と電磁波	電磁誘導や交流、電磁波について学ぶ。 「フレミングの左手の法則」「右ねじの法則・レンツの法則」「電磁誘導」「交流と実効値」「電磁波の性質」		
	3	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 1.エネルギーの移り変わり 2.エネルギー資源と発電	エネルギーの種類や、その利用方法について学ぶ。 「エネルギー変換」「資源と発電」「核反応と放射線」	7 12	

## 【英語科 シラバス】

科目名	英語コミュニケーション I			使用 教材	教科書	CROWN English Communication I (三省堂)
学 年	1	単位数	3		副教材	CROWN English Communication I ワークブック(三省堂)システム英単語 Pocket(桐原書店)
科・コース	普通科 特選コース・特進コース					

### 【授業の概要】

「聞くこと」・「読むこと」・「話すこと」・「書くこと」の4領域（スキル）の力を伸ばす活動を行いながら、テキスト本文の理解を深め、各レッスンの目標（Give It a Try!）を達成できるようにします。学習したことを踏まえ自分の考えや意見を英語で表現できるようになり、学習内容の理解をより深められることを目標としています。

### 【学習方法と授業の進め方】

授業は新出単語・熟語の意味を確認し、文法項目の説明を加えながら内容を理解し要点をつかめるように英文を読み進めていきます。リスニングでの内容理解の確認や自分の考えや意見を表現する英作文、ペアワークやグループワークなどの活動も行います。

### 【学習評価】

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の4技能（聞く、読む、話す、書く）について、活用できる知識を正しく身に付け、正しく使うことができる。</li> <li>英語を通じて異文化や国外の様子を学び、知識を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の「知識・技能」に関する問題</li> </ul>
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたり読んだりしたことなどをもとに、自分の意見や考えなどをまとめ、話したり書いたりして表現できる。</li> <li>論理的に物事を考えて、文章から意図や感情を読みとったり、自分の考えを人に伝える文章を作ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題</li> </ul>
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中のペアワークやグループワークにおける発言・発表・参加意欲・態度</li> <li>課題等の提出状況や内容</li> </ul>

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・事前に各レッスンの新出単語や熟語の意味を調べておく。
- ・英文の内容理解・読解に努める。
- ・授業中のペアワークやグループワークに積極的に参加する。また、発言・発表を積極的に行う。
- ・ワークブックやその他の課題に取り組み、提出を行う。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Lesson 1 The Blue White Shirt	<ul style="list-style-type: none"> <li>和製英語について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>不定詞、動名詞、文の構造に関する事項を理解している。</li> </ul>		
	5	Lesson 2 Does It Spark Joy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>片づけの専門家・近藤麻理恵さんの生き方や片づけに関する考え方について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>現在完了、現在完了進行形、助動詞に関する事項を理解している。</li> </ul>		
	6	Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	<ul style="list-style-type: none"> <li>アーティスト・ミヤザキケンスケさんの活動や考え方について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>関係代名詞、分詞の形容詞的用法、受動態に関する事項を理解している。</li> </ul>	16 10	
	7	Lesson 4 Digging into Mystery	<ul style="list-style-type: none"> <li>縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて、意見交換したり、書いて伝えたりすることができる。</li> <li>過去完了、過去完了進行形、関係代名詞 what, S+V+O(O=疑問詞/if 節)に関する事項を理解している。</li> </ul>		
第2学期	9	Lesson 5 Roots & Shoots	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と動物の共生や環境保護に関するジェーン・グドール博士の考えについて、理解して考えを深めることができる。</li> <li>分詞構文, It~that..., 同格の構文に関する事項を理解している。インタビューの中で使われている表現の意味や働きを理解している。</li> </ul>	15	
	10	Lesson 6 You and Your Smartphone - Who's in Charge?	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンの使用に関するよい点と問題点について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>関係副詞, S+V+O+C(C=原形不定詞/分詞)に関する事項を理解している。本文中で使われている表現の意味や働きを理解している。</li> </ul>		
	11	Lesson 7 Living in Alaska	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真家・星野道夫さんの自然に対する考え方, アラスカの自然や人々の暮らしについて、理解して考えを深めることができる。</li> <li>seem to~, it seems to~, S+is+C(C=that 節), S+V+C(C=分詞)に関する事項を理解している。講演の中で使われている表現の意味や働きを理解している。</li> </ul>	13	
	12	Lesson 8 Not So long Ago	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の悲惨さや平和の重要性, 写真の持つ力について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>仮定法過去, S+V+O1+O2(O2=疑問詞), 付帯状況を表す with に関する事項を理解している。ガイドの解説の中で使われている表現の意味や働きを理解している。</li> </ul>	16	
第3学期	1	Lesson 9 Our Lost Friend	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧宗主国と旧植民地の間に存在する文化財返還問題について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>受動態の完了形, 助動詞+be+過去分詞, 関係代名詞の非制限用法に関する事項を理解している。本文中で使われている表現の意味や働きを理解している。</li> </ul>	17	
	2	Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ピーナッツ」の世界的人気の理由や作者のチャールズ・M・シュルツさんが考える「人生の成功」について、理解して考えを深めることができる。</li> <li>仮定法過去完了, used to~, would~, 形式目的語 it に関する事項を理解している。本文中で使われている表現の意味や働きを理解している。</li> </ul>		
	3	1年間のまとめ	1年間の総復習		

## 【英語科 シラバス】

科目名	論理・表現 I			使用 教材	教科書	Vision Quest English Logic and Expression I
学 年	1	単位数	2		副教材	Vision Quest English Logic and Expression I Workbook [Advanced] 総合英語 Vision Quest
科・コース	普通科 特選コース・特進コース					

### 【授業の概要】

相手に理解してもらえるように論理的な文章の構成をしたり、展開を工夫して伝えたりすることができるようになることを目標としています。様々なトピックに関する情報や考えを発信する際に必要となる語彙や表現を習得し、「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」「書くこと」の3つの領域を中心とした発信能力を育成するための言語活動を行います。

### 【学習方法と授業の進め方】

教科書を使って様々な場面における語彙や表現を学習し、「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」「書くこと」の3つの領域を中心とした言語活動を行います。また、参考書とワークブックを活用し文法事項の理解と定着を図ります。

### 【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に評価します。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えを発信するために必要となる語彙や表現を理解している。</li> <li>各レッスンで習得した語彙や表現を適切に活用することができる。</li> <li>各文法事項の用法を理解している。</li> <li>学習した文法事項を適切に応用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の「知識・技能」に関する問題</li> <li>授業中の確認テスト</li> </ul>
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手とスムーズなやり取りができる。</li> <li>学習した語彙や表現、および文法事項を生かして英訳することができる。</li> <li>習得した語彙や表現、および文法事項を踏まえて自分の英文を膨らませて、情報や考えを発信することができる。</li> <li>相手に理解してもらえるように論理の構成や展開を工夫することができる。</li> <li>あいづちを打ったり質問をしたりするなどして、相手の話を関心を持って聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題</li> <li>授業中の発言や、ペアワーク、グループワークなどの言語活動</li> <li>発表や書くことを中心とした活動</li> </ul>
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した語彙や表現、および文法事項表現を使おうとしている。</li> <li>必要に応じて辞書アプリ等を活用している。</li> <li>間違えることを恐れずに、情報や考えを発信しようとしている。</li> <li>適切に伝えられなかったことを振り返ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言や、ペアワーク、グループワークなどの言語活動</li> <li>発表や書くことを中心とした活動</li> <li>ノート作成状況</li> <li>ワークブックや課題等の提出状況</li> </ul>

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

〔予習〕 各レッスンわからない単語や表現を調べ Try it out を解く。必要に応じて辞書や参考書を活用する。  
 〔授業〕 授業に積極的に参加し発言することで、予習段階での疑問を解決し、各レッスンの語彙や表現、および文法事項を授業内で定着させるよう心掛ける。ペアワークやグループワーク、課題などに意欲的に取り組む。  
 〔復習〕 その日のうちにノートを見直して間違えた箇所を確認し、学習した語彙や表現、および文法事項を整理して自分の言葉でまとめておく。必要に応じて辞書や参考書を活用する。ワークの問題を解き、解説を確認する。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Lesson1 I want to introduce my new friend.	Topic : 紹介 Grammar : 文の種類		
	5	Lesson2 How about joining our group?	Topic : 学校生活 Grammar : 文型と動詞	4	
	6	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend.	Topic : 旅行・観光 Grammar : 時制	13, 14 15	
	7	Lesson4 Have you ever tried it out?	Topic : 興味・関心 Grammar : 完了形		
第2学期	9	Lesson5 What do you want to do after high school? Lesson6 Did you hear about the new shop?	Topic : 将来・進路 Grammar : 助動詞 Topic : 日常生活 Grammar : 受動態	12	
	10	Lesson7 I'm happy to have you with us.	Topic : 交流・交際 Grammar : 不定詞	5	
	11	Lesson8 What sport do you like playing?	Topic : スポーツ・健康 Grammar : 動名詞	3	
	12	Lesson9 Digital media has come a long way.	Topic : メディア・コミュニケーション Grammar : 分詞	16	
第3学期	1	Lesson10 That's why I decided to go back.	Topic : 文化・異文化理解 Grammar : 関係詞	10, 17	
	2	Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	Topic : 国際問題 Grammar : 比較	1, 2, 4, 12	
	3	Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive.	Topic : 社会問題 Grammar : 仮定法	3, 8	

## 【保健体育科 シラバス】

科目名	体育			使用 教材	教科書	MY SPORTS (大修館書店)
学 年	1	単位数	2		副教材	なし
科・コース	普通科 特別進学選抜コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

運動の合理的な実践を通して、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、運動能力や体力の向上を図り、自主自立を身につけた豊かな人間性の育成を重点においています。  
生涯を通して継続的に運動ができる資質や能力を育てる科目です。

### 【学習方法と授業の進め方】

- ・体育委員が集合、整列、準備運動を行います。
- ・授業の内容説明と健康状況の確認をします。
- ・個々のレベルを把握し初歩的な技術を習得します。
- ・ゲーム形式で行います。
- ・整理運動と授業のまとめをします。

### 【学習評価】

- ・スキルテストを始め下記の観点別学習評価により総合的に評価する。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。 また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。	①授業中の行動観察 ②スキルテスト ③ゲーム(簡易ゲームも含む)
②思考・判断・表現	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	①授業中の行動観察 ②グループ学習 ③スキルテスト ④ゲーム (簡易ゲームも含む)
③主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	①授業中の行動観察 ②グループ学習 ③スキルテスト ④ゲーム (簡易ゲームも含む)

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・学校指定の体操服、シューズを着用してください。また、こまめに洗濯し衛生面に気を付けましょう。
- ・授業はチャイムと同時に始まりますので、休み時間のうちに活動場所に移動してください。
- ・見学者は授業前に申し出るようにしましょう。
- ・貴重品の管理をしっかりと行うようにしてください。
- ・安全面には充分気を配りましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	集団行動	・集合解散 ・号令 ・礼 ・整列整頓 ・ラジオ体操 ・気を付け休めの姿勢 ・列の増減、開列	3	
	5	集団行動	・方向転換 ・行進 ・行進からの方向転換 ・かけ足 ・まとめ、評価	3	
	6	新スポーツテスト (1)オリエンテーション (2)8種目を実施	・学習内容の理解、安全性とマナーについて ・50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、持久走	3	
	7	(3)まとめ、評価	・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび ・まとめ、評価	3	
第2学期	9	バレーボール (1)ボールに慣れる (2)基本パス	・ボールを使ってまずはバレーボールに慣れる ・アンダーハンドパス、オーバーハンドパス	3	
	10	(3)基本パス (4)サービス	・直上パス、対人パス ・対人パス、円陣パス、いろいろなパスに挑戦 ・1対1でコントロール、アンダーハンドサービス	3	
	11	(5)サービス (6)チーム練習・ゲーム	・いろいろなサーブに挑戦 ・チーム分け、コンビネーション作り、リーグ戦	3	
	12	(7)ゲーム (8)まとめ	・リーグ戦 ・まとめ、反省	3	
第3学期	1	サッカー (1)オリエンテーション (2)ボールに慣れる	・学習内容の理解、安全性とマナーについて ・ボールリフティング、パス	3	
	2	(3)基本練習 (4)ゲーム	・キック、トラップ、ドリブル、シュート ・正規のルールによるリーグ戦	3	
	3	(5)まとめ、評価	・まとめ、評価	3	

## 【音楽科 シラバス】

科目名	音楽 I			使用 教材	教科書	音楽 I Tutti+(教育出版)
学 年	1	単位数	1		副教材	なし
科・コース	普通科 特別選抜コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

学校の中で、日々、繰り返される様々な出来事の中、唯一「楽しい」という字をあてられたもの、それが「音楽」です。音楽は、文字通り「音を楽しむ」ものです。決して「音が苦」になってはいけません。音楽をする喜び、楽しみを味わい、芸術に対する興味、関心も深めましょう。またその活動を通して人間性を育み感性を豊かにする事こそ音楽 I の目標です。

### 【学習方法と授業の進め方】

音楽 I の授業の中心は「歌」です。独唱曲を中心に、歌唱力を身につけ、世界の多くの歌、日本の歌に触れていきます。特に外国の歌では、イタリア語、ドイツ語の歌曲も取り上げ、原語で歌って行きます。2 学期には、リコーダーも取り入れて、独奏、重奏など、リコーダーの基本から応用まで、教科書の曲以外の曲にも挑戦。最近の JPOP の曲も取り入れて行きます。また充実した音響と映像設備によるクラシック、日本音楽鑑賞、ミュージカル鑑賞等も行います。

### 【学習評価】

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	<p>【知】言葉の特性と曲種に応じた発声(奏法)との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【技】曲にふさわしい発声(奏法)、言葉の発音、身体の使い方、奏法などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【知】日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>【技】音符の特性を生かしてリコーダー演奏技能を身に付け、表現している。</p> <p>【知】鑑賞において曲想や表現上の効果と音楽の構造ミュージカルについての知識を理解している。</p>	定期考査、授業中の歌唱やリコーダーの発表等
②思考・判断・表現	<p>音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うか、演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について、ミュージカルやクラシック音楽日本の歌舞伎の良さや美しさを自ら味わって鑑賞している。</p>	定期考査、歌唱やリコーダーの実技試験
③主体的に学習に取り組む態度	<p>ドイツ語、イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもつ。</p> <p>リコーダーの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>ミュージカルの表現力の発見、オーケストラの響き、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりする面白さに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	音楽鑑賞のノート提出、授業中の歌唱練習観察、リコーダー練習観察、ミュージカル、クラシック音楽、歌舞伎等の鑑賞態度等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

音楽は、特に予習も復習も必要ありません。その代わり、週2回の貴重な時間、積極的な取り組みを期待します。音楽を理解し、愛好する心情を育むには、能動的なかわり方が求められます。決して受身にならず、主体的な姿勢で授業に臨むことが必要です

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SD Gs	備考欄
第1学期	4	校歌を覚えよう 美しい発声 日本の歌(1)	入学当初は、まず校歌を覚えるとともに、高校生にふさわしい美しい発声をマスターすることから始めます。昔から歌われてきた有名な日本の歌を学習。	16	
	5	ドイツの歌を歌おう 日本の歌(2)	世界でも有名なドイツ語で歌う歌曲を勉強します。変わった発音、ウムラウトなど、ユーモアを含めて楽しく歌って行きます。有名な日本の歌も学習します。	16	
	6	イタリアの歌を歌おう 楽典 音楽鑑賞 日本の歌(3)	イタリアのカンツォーネといえば、世界を代表する歌です。その魅力をあますことなく味わいます。また簡単な音楽の知識の学習、音楽鑑賞も行います。	16	
	7	世界の歌 楽典 音楽鑑賞	イギリス、イタリア、ドイツの歌を総合的に探究し、歌いこんでゆきます。音楽理論を学びます。クラシック音楽をわかり易く解説しバロックを鑑賞します。	16	
第2学期	9	リコーダーの基本を学習 日本の歌を吹いてみよう 卒業式歌	リコーダーの基本的な運指をマスターしよう。中学時代、楽器を経験しなかった生徒でも安心。ゆっくり進んでゆきます。名曲「ふるさと」をマスターします。卒業式歌		
	10	リコーダーの応用 アンサンブルの基礎 世界の歌 卒業式歌	リコーダーの楽器の構造、歴史などを学びます。曲はポピュラーな楽譜を用意、楽しみながら演奏。世界の歌を歌う また卒業式歌を歌う		
	11	リコーダーアンサンブル を楽しもう 世界の歌 卒業式歌	歌のような合唱と同様、リコーダーでも二重奏、三重奏を吹いてみると楽しさが倍増します。世界の歌を歌う。また、卒業式歌を歌う		
	12	リコーダーの名曲に挑戦！ ベートーベン交響曲「第九番」第9番の歌唱	ソロでリコーダーを吹いてみよう。今までの成果を発表する機会です。ベートーベンの第九。ベートーベンの人生、歴史についても触れてみます。卒業式歌		
第3学期	1	歌舞伎を研究しよう オペラを楽しもう ミュージカル鑑賞 ① 卒業式歌	長唄「勧進帳」について学習、鑑賞。オペラ「魔笛」について研究、鑑賞します。ミュージカル「ウエストサイド物語」「オペラ座の怪人」を鑑賞します。卒業式歌を歌う。	10	
	9	リコーダーの基本を学習 日本の歌を吹いてみよう 卒業式歌	リコーダーの基本的な運指をマスターしよう。中学時代、楽器を経験しなかった生徒でも安心。ゆっくり進んでゆきます。名曲「ふるさと」をマスターします。卒業式歌	10	
	3	アジアの音楽を味わおう ピアノ曲について ミュージカル鑑賞 ③	中国、韓国、日本の名曲を歌います。世界中の有名なピアノ曲を少しずつ切り取って鑑賞します。高校生ミュージカルとして有名な「ハイスクールミュージカル」の鑑賞をします。	10	

## 【家庭科 シラバス】

科目名	家庭基礎			使用 教材	教科書	大修館書店 Creative Living 『家庭基礎』 で生活をつくろう
学 年	1	単位数	2		副教材	
科・コース	普通科 特別進学選抜コース・特別進学コース					

### 【授業の概要】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上と実践的な態度を育てる

### 【学習方法と授業の進め方】

- ・必要な知識を習得し、家庭生活への実践力を養う。
- ・教科書を基本とした授業を進めていく。
- ・年間に多くの調理実習や作品制作の時間を確保し、授業で得た知識や技能を実践的に発揮できるよう進める。

### 【学習評価】

定期テストおよび下記の寒天氷塊により総合的に評価する。

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活等に関する基本的な知識と技能を身につけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の知識・理解に関する問題</li> <li>・課題プリントへの取り組み</li> <li>・ノート作成状況</li> <li>・作品制作への取り組み</li> </ul>
②思考・判断・表現	人の一生を家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の思考・判断</li> <li>・課題プリントへの取り組み</li> <li>・作品制作に対する表現や思考</li> </ul>
③主体的に学習に取り組む態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作に対する仕方や態度</li> <li>・実習に対する態度や取り組み</li> <li>・課題プリントへの取り組み</li> </ul>

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

- ・作品制作、調理実習では指導を守り、安全かつ衛生的な実習ができるよう心がけてください。
- ・調理実習はグループで行うので、協調性を保ち、役割分担を決めて取り組みましょう。
- ・教材は忘れないようにしてください。
- ・提出物は期限を守り、必ず提出してください。
- ・学んだことを家庭生活で実践することにより理解が深められると思います。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第9章 食生活のマネジメント 1. 体と心を満たす食事 2. イエローカードかも	・食事の役割 ・食生活を見直す・生活文化を継ぐ・つくる	3 3	
	5	3. 栄養バランスのよい食事 4. 炭水化物を摂る	・栄養素の量と食事の量 ・炭水化物の働きと食品の調理性	3・ 12 3	
	6	5. 脂質を摂る 6. たんぱく質を摂る	・脂質の働きと食品の調理性 ・たんぱく質の働きと食品の調理性	3 3	
	7	7. 無機質を摂る 8. ビタミンを摂る ・作品制作 ・調理実習	・無機質の働きと食品の調理性 ・ビタミンの働きと食品の調理性	3 3	
第2学期	9	9. 豊かな食卓に 10. 食品のプロフィールを知る ・作品制作 ・調理実習	・その他の食品 ・食品の選択と購入	3・ 12	
	10	11. 食品を安全に取り扱う 12. 持続可能な食生活	・食品の保存と衛生 ・環境と食生活	3・ 12	
	11	第7章 持続可能な社会をつくる 1. 地球が危ない 2. ライフスタイル再考 3. めざせ！持続可能な社会	・生活と環境のかかわり ・持続可能な消費 ・参画する意義	7・ 12・ 13・ 14・ 15	
	12	第8章 経済生活のマネジメント 1. 生活を営むためのお金 2. 経済のしくみを知ろう ・行事食実習 ・作品制作	・経済的な自立 ・家計の構造と社会	8	
第3学期	1	3. お金と上手につきあう術 4. 18歳で変わる消費生活 5. 進むキャッシュレス社会 ・調理実習 ・作品制作	・経済計画とリスク管理 ・消費と契約 ・購入方法・支払方法の多様化	8 8・ 9	
	2	6. 「お金を借りる」ということ 7. 消費者トラブルの今 8. 消費者の自立を支援する ・作品制作	・消費者信用の利用と管理 ・多様化する消費者問題 ・消費者保護の法律と仕組み	8	
	3	9. 情報社会を生きる 10. 私たちが社会を動かす ・調理実習	・情報の収集と整理 ・消費者の権利と責任	8・9 8・ 12	

## 【情報科 シラバス】

科目名	情報 I			使用 教材	教科書	最新情報 I (実教出版)
学 年	1	単位数	2		副教材	最新情報 I 学習ノート (実教出版) 最新情報 I 第 6 章 Python 版+ノート (実教出版)
科・コース	普通科 特別選抜コース・特別進学コース・進学コース					

### 【授業の概要】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

### 【学習方法と授業の進め方】

教科書を使用して、講義・実習をすすめていきます。実習ではタブレットを活用し、課題の提出などもペーパーレスを目指しています。

### 【学習評価】

#### 観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	・定期考査の思考・応用問題 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題プリント

### 【留意事項】 授業に取り組む上でのアドバイスなど

中学校でも情報について学んできたと思いますが、高校の情報は幅広く学びます。身近な内容ですので、ぜひ積極的に取り組んでください。また、実習については、タブレットを活用していきます。情報以外の教科でも活用していくため、ぜひ積極的に活用するよう心がけ、使いこなしてください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1章 情報社会と私たち 1 情報社会 ①情報社会と情報 ②情報の特性 ③情報のモラルと個人に及ぼす影響	情報社会の現状について理解する。 情報の特性について理解する。 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。		
	5	2 情報社会の法規と権利 ①知的財産 ②情報の利用と公開 ③個人情報の保護と管理 3 情報技術が築く新しい社会 ①社会の中の情報システム ②情報技術と課題解決	知的財産権について理解する。 他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。 社会の中で活用されている情報技術について理解する。 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。		
	6	第2章 メディアと情報デザイン 1 メディアとコミュニケーション ①メディアの発達 ②メディアの特性 ③コミュニケーションの形態 ④インターネットのコミュニケーション 2 情報デザイン ①社会の中の情報デザイン ②情報デザインの工夫	メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。		
	7	3 情報デザインの実践 ①文書の作成 ②プレゼンテーション ③Web ページ	報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。 プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 Web ページ作成の方法について理解する。	4	
第2学期	9	第3章 システムとデジタル化 1 情報システムの構成 ①コンピュータの構成と動作 ②ソフトウェアとインターフェース 2 情報のデジタル化 ①アナログとデジタル ②2進数と情報量 ③演算の仕組み ④数値と文字の表現	コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。 2進数と情報量の関係について理解する。 コンピュータの演算の仕組みを理解する。		
	10	⑤数値の計算 ⑥音声の表現 ⑦静止画と動画の表現 ⑧情報のデータ量	数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 音声をデジタルで表現する方法について理解する。 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。		
	11	第4章 ネットワークとセキュリティ 1 情報通信ネットワーク ①ネットワークの構成	情報通信ネットワークの構成について理解す		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>②情報通信の取り決め</li> <li>③Web ページとメールの仕組み</li> <li>④転送速度とデータ圧縮</li> </ul>	<p>る。</p> <p>ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する。</p> <p>Web ページとメールの仕組みについて理解する。</p> <p>ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。</p>		
	12	<p>2 情報セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①脅威に対する安全対策</li> <li>②情報セキュリティの確保</li> <li>③安全のための情報技術</li> </ul> <p>第5章 問題解決とその方法</p> <p>1 問題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①問題解決</li> <li>②問題の発見</li> <li>③問題の明確化</li> </ul>	<p>脅威に対する様々な安全対策について理解する。</p> <p>情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。</p> <p>情報を安全に取り扱うための技術について理解する。</p> <p>問題解決の手順について理解する。</p> <p>問題の発見の方法について理解する。</p> <p>問題を明確化する方法について理解する。</p>		
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>④解決案の検討</li> <li>⑤解決案の決定</li> <li>⑥解決案の実施と評価</li> </ul> <p>2 データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①データの収集と整理</li> <li>②データ分析と表計算</li> <li>③データの可視化</li> <li>④データ分析の手法</li> <li>⑤データベースとは</li> </ul>	<p>解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。</p> <p>合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。</p> <p>実行した解決案を評価する方法について理解する。</p> <p>データを収集したり、整理したりする方法について理解する。</p> <p>表計算ソフトの活用方法について理解する。</p> <p>データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。</p> <p>データ分析の手法について理解する。</p> <p>データベースの種類とその仕組みについて理解する。</p>	4	
	2	<p>3 モデル化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①モデル化とシミュレーション</li> <li>②モデルの分類</li> <li>③モデル化の手順</li> <li>④モデル化の手法</li> <li>⑤モデル化をする時の注意</li> </ul> <p>4 シミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①シミュレーションの実際</li> <li>②モンテカルロ法</li> <li>③モデル化とシミュレーションによる問題解決</li> </ul>	<p>モデル化の意味について理解する。</p> <p>モデル化の分類について理解する。</p> <p>モデル化する手順と方法を理解し、様々なモデルを作成する。</p> <p>シミュレーションの意義について理解し、確率的モデルのシミュレーションを行う。</p> <p>問題解決のためにシミュレーションを活用する。</p>		
	3	<p>第6章 アルゴリズムとプログラミング</p> <p>1 プログラミングの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アルゴリズムとその表記</li> <li>②プログラミング言語</li> </ul> <p>2 プログラミングの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①プログラミングの方法</li> <li>②関数を使用したプログラム</li> <li>③探索と整列のプログラム</li> </ul>	<p>アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。</p> <p>プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。</p> <p>変数を使用したプログラムを作成する。</p> <p>関数を使用したプログラムを作成する</p> <p>多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。</p>	4	